

令和2年度上半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

所管課	ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課		
指定管理者名	ぎふ南スポーツコミュニティ		
指定期間	<input checked="" type="checkbox"/> 平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	6館及び2プール一括 167,915,625円		
施設の設置目的	スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達を図るため		
施設名	(1) 岐阜市民総合体育館	所在地	岐阜市九重町4-24
施設概要	開設年月 昭和45年10月 競技場(40m×27m)バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球20台 卓球場、剣道場、柔道場、相撲場、格技室、トレーニング室、第2トレーニング室、弓道場、射撃場		
施設名	(2) 岐阜市岐陽体育館	所在地	岐阜市上川手735-2
施設概要	開設年月 平成12年4月 競技場(31.5m×28m) バスケットボール1面(練習2面)、バレーボール2面、バドミントン6面		
施設名	(3) 岐阜市南部スポーツセンター	所在地	岐阜市南鶉5-86
施設概要	開設年月 昭和54年5月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面、卓球16台 柔道場、剣道場、トレーニング室、グラウンド・ゴルフ場		
施設名	(4) 岐阜市東部体育館	所在地	岐阜市芥見4-68
施設概要	開設年月 昭和59年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス3面、卓球16台 体育室		
施設名	(5) 岐阜市西部体育館	所在地	岐阜市南鏡島2-76
施設概要	開設年月 昭和60年6月 競技場(36m×34m) バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、テニス2面 卓球場、柔道場、剣道場、トレーニング室		
施設名	(6) 岐阜市もえぎの里多目的体育館	所在地	岐阜市柳津町下佐波西1-41
施設概要	開設年月 平成28年7月 競技場兼集会場(36m×24m)・ステージ(204.07㎡) もえぎの里3階 アリーナ、トレーニング室		
施設名	(7) 岐阜市南部市民プール	所在地	岐阜市南鶉4-120
施設概要	開設年月 55年7月 一般プール(25m×20m・10コース)・幼児プール(414㎡)		
施設名	(8) 岐阜市本荘市民プール	所在地	岐阜市寿町2-13
施設概要	開設年月 昭和55年7月 一般プール(25m×14m・6コース)・幼児プール(70.88㎡)		

●利用状況

(1) 岐阜市民総合体育館		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		18,297	46,245	58,286	53,025	60,390
各室稼働状況(%)	競技場	45.0	77.2	86.0	83.1	90.3
	剣道場	16.6	34.5	40.4	39.8	42.1
	柔道場	5.1	23.5	24.3	22.7	26.8
	格技場	8.4	23.1	27.0	33.1	33.7
(2) 岐阜市岐陽体育館		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		7,065	12,816	16,253	14,718	9,977
各室稼働状況(%)	競技場	49.2	74.4	77.7	81.8	82.6
(3) 岐阜市南部スポーツセンター		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		11,820	29,843	33,740	31,607	35,899
各室稼働状況(%)	競技場	61.3	90.4	95.6	93.1	94.6
	剣道場	27.4	45.0	48.6	58.2	51.9
	柔道場	12.1	23.4	28.9	30.0	28.9
	テニスコート	—	289	710	397	556
	グラウンド・ゴルフ場	89	—	—	—	—
(4) 岐阜市東部体育館		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		9,239	21,199	26,914	25,965	30,062
各室稼働状況(%)	競技場	54.3	86.2	91.6	94.7	94.2
	剣道場	31.2	54.9	52.2	48.1	49.4
(5) 岐阜市西部体育館		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		12,757	36,313	42,521	39,422	44,790
各室稼働状況(%)	競技場	59.5	94.4	95.6	95.2	94.8
	剣道場	10.6	34.6	37.4	36.5	36.4
	柔道場	5.6	17.6	17.2	21.0	22.1
(6) 岐阜市もえぎの里多目的体育館		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		12,660	37,524	40,263	40,025	38,627
各室稼働状況(%)	競技場	54.7	83.8	83.9	83.4	81.5
	アリーナ	49.2	81.6	82.4	86.1	82.2
(7) 岐阜市南部市民プール		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		6,782		10,445		10,856
各室稼働状況(%)						
(8) 岐阜市本荘市民プール		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		2,811		3,486		3,878
各室稼働状況(%)						
		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数合計(単位:人)		81,431	183,940	231,908	204,762	234,479

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聞くためアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守、適切な運用に努めている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページや広報誌等の媒体を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者からの意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。なお、各館長が共通認識を持てるよう毎月「館長会」を行い、各館統一見解により業務にあたっている。
指定事業・自主事業	【指定事業の実施】 ①体育館スポーツ教室 ②市民プール開設事業 【自主事業の実施】 ①スポーツ事業助成	【指定事業】 ①令和2年度第1回体育館スポーツ教室(4月～7月)は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、職員によるドアノブ等の消毒を定期的に実施し、施設の衛生管理に努めている。 ②定数や時間等、利用制限を設けて開設。 【自主事業】 開催を予定していた事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。(6事業) ①スポーツ事業助成 ・助成決定 1件(申請4件) ・助成の審査については、助成審査委員会による審査を行い決定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う活動自粛の為、助成実績は無し。
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③施設・設備点検業務 ④消防用設備保守点検 ⑤電気工作物保安全管理業務	①日常清掃、定期清掃を適切に実施している。なお、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、職員によるドアノブ等の消毒を定期的に実施し、施設の衛生管理に努めている。 ②警備業務(機械警備)は適切に実施している。 ③施設・設備点検業務は適切に実施している。 ④消防用設備保守点検は適切に実施している。 ⑤電気工作物保安全管理業務は適切に実施している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	上級体育施設管理士のノウハウ及び職員による施設内外の目視巡回点検等から修繕箇所を把握し、適切な修繕を行った。 [修繕の実施]28件 2,517,302円 [主な修繕]・剣道場・競技場の床修繕・窓ガラス修繕等
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。 ②非常時に迅速に対応できるよう努められている。 ③各種研修を実施し、関係法令を遵守した運営を行っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<施設利用者> ・施設利用者にアンケートを配布し、計画的に実施しています。 <来館者:プール利用者・アンケート週間> ・直接職員に伝えにくい意見等を収集できるよう、館内にアンケートボックスを設置しています。 <自主事業> ・自主事業受講者にアンケートを配布しているが、上半期は中止のため未実施
利用者アンケートの実施結果	①「利用者カード」(団体利用) 【回収枚数】 4,875枚 【楽しく活動できましたか】 91.9% 【職員の接遇はいかがでしたか】 91.5% 【設備環境はいかがでしたか】 90.7% ②プール利用者アンケート 【回収枚数】 100枚 【満足度】 94.5% 【職員のあいさつ】 74.5% 【職員の接遇】 85.5% 【利用のしやすさ】 88.7% 【更衣室の整理】 85.2% ③「利用満足度UPアンケート」(アンケート週間) 【実施期間】 9月16日～9月22日 【回収枚数】 365枚 【満足度】 78.5% 【施設の使いやすさ】 75.7% 【付帯設備や備品に不備はなかった】 71.2% 【施設的美観は保たれているか】 75.7% 【職員は丁寧に対応したか】 78.2%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<主な意見> ・卓球場・トレーニングルームの定員を増やしてほしい。 ⇒ 卓球場・トレーニングルーム・弓道場とも新型コロナウイルスの感染防止のため人数制限を実施しており、丁寧に理解を求めた。各施設の利用区分ごとに予約簿で予約状況を把握し、電話での問い合わせ時には予約可能時間帯を案内するなど、混雑防止に努めた。 ・トイレをきれいにしてほしい。更衣室の温水シャワーを設置してほしい。 ⇒ 順次計画されている施設の工事等で改善される可能性がある。ご理解をいただくよう丁寧な説明に努めた。 ・空調設備を導入してほしい。 ⇒ 市と連携し、導入に向け進めている。また、体調の悪い人には役員室や談話室等、空調設備のある部屋の利用を案内した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	平等利用を確保するための体制が整えられているか。またそのためのモニタリングが実施されているか。	A	A	A
		(2) 情報公開、広報の方策	幅広く市民に適切な情報公開がなされているか。	A	A	A
		(3) 個人情報保護のための方策	個人情報の保護についての管理対策が適切に実施されているか。	A	A	A
		(4) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、公平性、透明性を配慮した独自の取り組みを計画・実施しているか。	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	業務内容を常に見直し、事業改善に取り組んでいるか。	S	S	S
		(2) 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者ニーズ等を把握するための方策を実施しているか。また苦情等の再発防止策を講じているか。	S	A	A
		(3) 利用者に対するサービス向上の方策	設備整備など、利用者の利便性・満足度向上に向けた方策が提案・実施されているか。	S	S	S
		(4) 利用促進、利用者増の方策	魅力ある教室・講座等の実施に向け、積極的な広報活動により、利用者の拡大を図っているか。	S	A	A
		(5) サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	寄せられた意見に対して、適切に対応し、運営に反映しているか。	A	A	A
		(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	管理運営組織を整え、適正な人員配置が行われているか。	S	S	S
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、施設の効用(設置目的)を最大限発揮する取り組みの提案・実施ができているか。	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1) 指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者の安全と快適性を確保した上で経費削減の実施がなされているか。	S	S	S
		(2) 収支計画の妥当性	適正な収支配分計画となっているか。	A	A	A
		(3) 管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の削減が図られているか。	A	A	A
		(4) スタッフ配置の妥当性	過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	S	A	A
		(5) その他指定管理者の提案によるもの	設置目的に沿った、健全で安定した中でのコスト削減が図られているか。	S	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1) 経営基盤の安定性	安定した財務状況のもと、指定管理業務に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2) 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	施設の運営に必要なノウハウを有した人材を確保しているか。	A	S	S
		(3) スタッフの管理、監督体制	スタッフの管理は適切に行われているか。また、管理・監督が適正に行える体制が整備されているか。	A	A	A
		(4) スタッフの人材育成の方策	安定した施設運営を図るため、各種規定に基づき人材育成が図られているか。	S	A	A
		(5) リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	事故、災害等緊急時の対策、対応は適切に図られているか。また、防犯に対する対策は適切か。	A	A	A
		(6) リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	リスクへの対応能力を確保しているか。	S	A	A
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じた連携体制の構築がされているか。	S	S	S
		区分評価			A	

貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1)地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地域と連携、協働し、施設の管理運営にあたってはどうか。	A	A	A
		(2)地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元住民の雇用促進に資する対応が図られているか。	A	A	A
		(3)地元での資材等の調達	地域発展のため地元業者からの調達を推進しているか。	A	A	A
		(4)地元での社会活動等への参加	地元の社会活動への協力と参加が図られているか。	S	A	A
		(5)その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、地元の振興・活性化等、貢献が図られているか。	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>【効果性】</p> <p>今年度当初から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため体育施設の貸館業務を停止していたが、岐阜市の指導により利用制限や感染防止対策を実施し、順次貸館業務を再開した。</p> <p>(主な対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付窓口にパーテーションを設置し対面場所を遮断 ・利用者の3密回避の為、受付の記入場を増設 ・個人利用(卓球・トレーニングルーム・弓道・射撃)に利用制限を設け、予約簿で管理 ・団体利用における人数制限 ・利用者における感染防止対策を確認するために、チェックシートの確認 ・頻繁な換気や、窓開けにより通気の良い換気を実施 <p>■既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で前期開催予定であったすべての事業が中止となったが、自宅で運動を継続するため今年度実施予定であった「健康運動教室」の内容を動画で作成し、体育館のホームページに掲載した。(基礎編①～⑧ 応用編①②) (889回の閲覧:9月30日現在) <p>■利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート週間を設けて「利用満足度UPアンケート」を実施した。 <p>■利用者に対するサービス向上の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望の多いトレーニング機器を、事業団予算でリースを継続した。 <p>■利用促進、利用者増の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用再開に向けて、利用方法等を館内掲示やホームページを利用し広く市民に発信した。 ・コロナ禍におけるプール事業の対策等が評価され、南部市民プールではNHK・CBCテレビ及び岐阜新聞の取材を受けた。今年度は人数制限を設けたうえでのプール開催であり、期間中の総入場者は大幅減であったが、近隣市町村がプールを開設していないなかで安全対策の報道効果もあり、後半は市内外から多くの来場者があった。 <p>南部市民プール (前年度比 7月:20% 8月:81% 9月:135%) 本荘市民プール (前年度比 7月:29% 8月:106% 9月:149%)</p> <p>■施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民プールのコロナ対策では、酷暑の中、整理券を配布しての入場制限となり、通常の監視業務に加え1名追加配置して衛生管理や注意喚起に努めた。また、混雑が見込まれる日には他館から職員を派遣し、事業団全体でプールの運営にあたった。 ・体育館の利用再開時のコロナ対策における混乱を防ぐため、受付業務のスタッフを増員し対応した。 ・トレーニングルーム再開にあたり、日本体育協会公認スポーツプログラマーの資格を有するトレーナーを配置しており、感染症防止対策を適切に行った。 ・体育館再開にあたり、日本体育協会公認スポーツ指導員を配置しており、コロナ禍での自粛要請や活動方法を利用者に適切に説明した。
--------------	--

今期の取り組みに対する評価

【効率性】

■指定管理経費の妥当性(サービスとコストバランス)

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として体育館の貸出施設を閉鎖した時は、アルバイトの自宅待機等を行い雇用の確保に努めながら、臨時雇賃金の削減をおこなった。また、利用再開時、チェックシート等の徴収で窓口業務が繁雑にならないよう人員を増やし混乱を解消した。
- ・コロナ禍で利用者に安心して施設を使用して貰えるよう、通常の清掃用モップに加えモップのリースを追加し、常に新しいモップを提供した。(5館で42本)また、各体育館の日常清掃業務委託の時間を延長して施設の衛生管理に努めた。
- ・消毒液や非接触型体温計等のコロナ感染防止対策用品を購入し安心・安全に務めた。
- ・プール業務では、利用者が安心して施設を使用して貰えるよう清掃・消毒人員を確保した。また、人数制限の混乱を解消するため受付に誘導係を増員した。南部市民プールでは酷暑の中特に混乱が見込まれたため、熱中症対策の一環として大型ミスト付扇風機を設置し利用者から好評を得た。
- ・コロナ禍でも業務に影響が出ないようにウェブカメラを設置し、オンラインで会議が出来る体制を構築した。

【安定性・安全性】

■スタッフ配置の妥当性(再掲)

- ・個人利用の再開にあたりチェックリストの提出や電話予約対応などの業務に混乱なく対応するため、職員の配置を適切に行った。特に総合体育館においては弓道場・射撃場・相撲場も有していることから、職員1名を増加して利用者対応に努めた。
- ・市民プールのコロナ対策では、酷暑の中、整理券を配布しての入場制限となり、通常の監視業務に加え1名追加配置して衛生管理や注意喚起に努めた。また、混雑が見込まれる日には他館から職員を派遣し、事業団全体でプールの運営にあたった。

■スタッフの人材育成

- ・事業団主催の各種研修会へ参加し職員のスキルアップを図った。また、毎月の館長会の開催により、施設間の情報を共有するとともに、より効率的な施設管理へとつなげていくことが出来た。
個人情報保護研修:4月17日 防犯研修:6月12日 普通救命講習:7月8日
接遇研修 :8月12日・21日・26日 情報セキュリティ研修:9月30日

■その他指定管理者の提案によるもの

- ・今年度のプール事業は、コロナ対策として人数制限・時間制限を設けての実施となった。整理券の配布時に多くの利用者の混雑を未然に防ぐため、職員を増員して対応した。また南部市民プールでは、例年とは異なる屋外での待ち時間への対応策として、熱中症予防とサービスの向上を図るため、大型ミスト付扇風機を2台設置した。

【貢献性】

■地元での社会活動等への参加

- ・すべての体育館と岐阜市の間で「岐阜市ぎふまち育て隊(アダプトプログラム)」への活動に参加している。これまではそれぞれの体育館において、職員が自主的に周辺の清掃を行ってきたが、さらに主体的に美化活動に取り組むため、「ぎふまち育て隊」に登録し定期的・継続的に清掃し地元の美化に貢献している。
- ・地元プロチームを事業団職員一丸となって応援している。そのため、事業団のホームページにバナーリンクの掲載をおこなった。

(その他の取り組み)

・豪雨被災地への義援金活動

- 「令和2年7月豪雨災害」の被災者に対し、私たちが力になれることはないかと考え、事業団が管理する各施設の窓口で義援金活動を行った。集まった市民からの義援金は日本赤十字社へ寄付し、被災地の復興に寄与した。

<p>前回までの意見を踏まえた取り組み状況</p>	<p>【施設利用者の安全確保に向けた取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートでは高い評価を得ているが、より多くの利用者の声をいただくため、アンケート週間を実施した。コロナ対策に関する要望などを多くいただき課題については所管課と共有した。 ・好評であった自主企画事業のすべてがコロナ感染拡大防止に伴い中止となった。コロナ禍でも「新しい生活様式」の取り組みへの一環として、自宅のできる運動の動画をホームページ上にアップして市民の運動意欲を高めることに努めた。 ・上半期において施設の利用停止に伴い適正な人材配置で人件費の削減に努めた。その一方で前期スポーツ教室が中止となり講師謝金が未執行となったため、施設の安全管理のための修繕やサービス向上のための備品購入などに充当した。残額についても所管課と協議しながら市民に還元できる形で執行予定である。
<p>今後の取り組み</p>	<p>【リスクへの対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止の対策は今後も継続していく必要がある。3密回避のための方策等については上半期で整備を進めたが、今後は利用者数の増加も予想されるため、消毒液の設置場所を増やすなど、館内消毒の強化を図っていく。ホームページ、館内掲示や配布物を活用し、利用者にも協力を求めながらコロナ対策を進めていく。 <p>【利用者に対するサービス向上の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングルーム、卓球場、弓道場の個人利用が予約制になっている中で、空き状況の問い合わせが多く寄せられている。ホームページやツイッターを活用し、空き状況をタイムリーに発信していく。 ・各館において施設や備品の老朽化が進んでおり利用者アンケートでも改修、入れ替えを望む声が増えていく。今年度のスポーツ教室中止に伴う講師謝金の未執行額を所管課と協議して利用者サービスのために有効に使っていく。 <p>【利用促進・利用者増の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道場、剣道場など稼働率の低い施設に対し、多様な使い方を提案し稼働率アップと利用者増に努める。 ・利用再開したトレーニングルームにおいて、人数・時間制限がある中でより多くの方に、効率よく利用していただけのように、日本体育協会公認スポーツプログラマーの資格を有するトレーナーの直接指導とSNSや掲示物を活用し、効率的なトレーニング方法の提案を行う。 ・コロナ禍での新たな体育館の利用として、自主企画事業において事業団が管理する少年自然の家やドリームシアターなど他施設と連携し、各施設の特色や職員の持つ専門性を活かした家族交流イベントを開催する。

●所管課の意見

施設の修繕や、備品の更新を計画的に行うなど、施設の管理運営は概ね適切に実施されている。新型コロナウイルス感染症への対応についても、本市の指示に従い、迅速・適切に対応している。また、コロナ禍で施設を利用停止した際には、「健康運動教室」の動画を配信し、スポーツ施設の付加価値を高める取り組みも評価できる。今後も引き続き、安全・安心な施設運営を継続するとともに、稼働率の低い施設の更なる利用促進を図られたい。

●指定管理者評価委員会の意見

施設の修繕や、備品の更新など、概ね適切な管理運営がなされている。また、コロナ禍において、近隣自治体におけるプールの開館が少ない中、感染症対策として受付開始時間を早めたり、熱中症対策として大型ミスト扇風機を活用したりするなど、開館に努めたことは評価できる。今後も引き続き、安全・安心な施設管理を継続するとともに、コロナ禍に対応した取り組みにより、更なる利用促進に努められたい。